
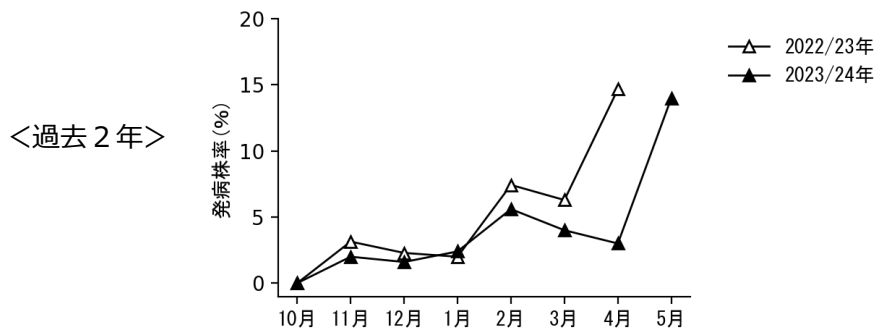
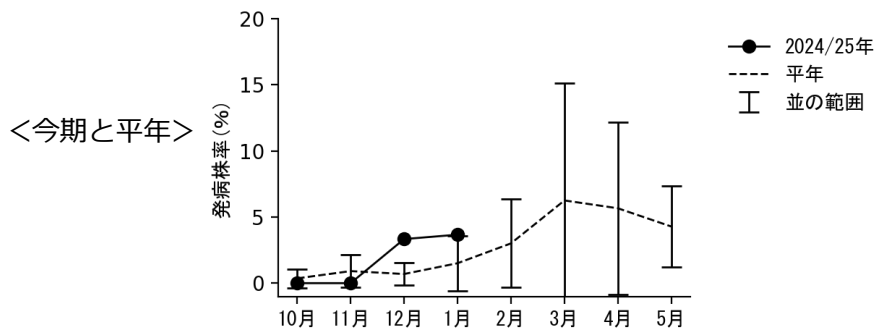


作物	トマト(施設)	地域	沖縄群島
病害虫名	① 黄化葉巻病		
調査結果	1 月の発生量 (平年比)	やや多	
予 報	1 月からの増減傾向	↗	
	2 月の発生量 (平年比)	並	
予報の根拠		平年の発生量の推移 (↗)	

調査結果


発病株率の推移



・発生施設率83.3% (平年 : 26.1%)

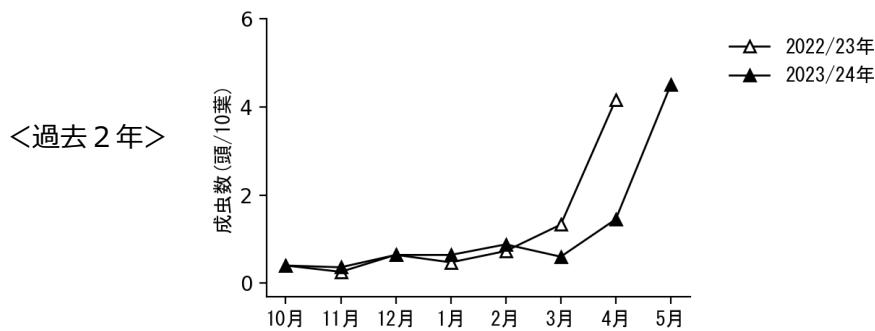
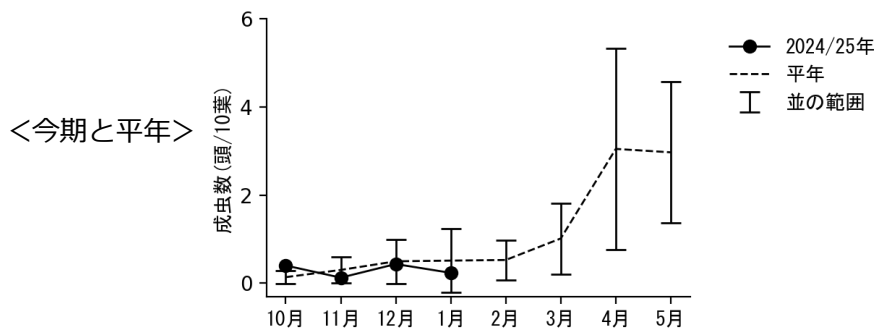
防除のポイント

- ・媒介虫であるタバココナジラミの防除を徹底する。
- ・伝染源となるムラサキカタバミやノゲシ等の雑草除去に努める。
- ・発病株や摘葉残さは伝染源となるため、施設外に持ち出しビニール袋に入れるなどして密閉処分する。

作物	トマト(施設)	地域	沖縄群島
病害虫名	② タバココナジラミ		 <p>成虫</p>
調査結果	1 月の発生量 (平年比)	並	
予報	1 月からの増減傾向	→	
	2 月の発生量 (平年比)	並	
予報の根拠		平年の発生量の推移 (→)	

調査結果

成虫数の推移




・発生施設率83.3% (平年 : 50.7%)

防除のポイント

- ・本種はトマト黄化葉巻ウイルスを媒介する。
- ・多くの雑草が発生源となりうるので、施設内外の雑草除去に努める。
- ・施設の出入口や天窓は目合いの細かいネット等で被覆し、成虫の侵入を防ぐ。
- ・黄色粘着テープ等により、早期発見・防除に努める。
- ・幼虫は下位葉の葉裏に多いことに留意しながら薬剤散布を行う。
- ・薬剤抵抗性を発達させやすいので、同系統薬剤の連用を避け、気門封鎖系等の薬剤も利用する。

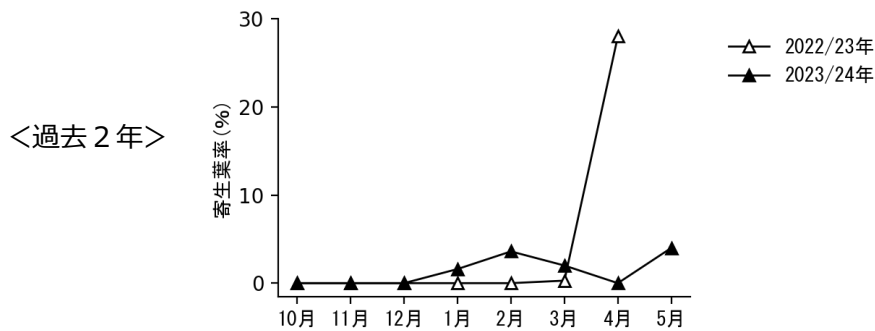
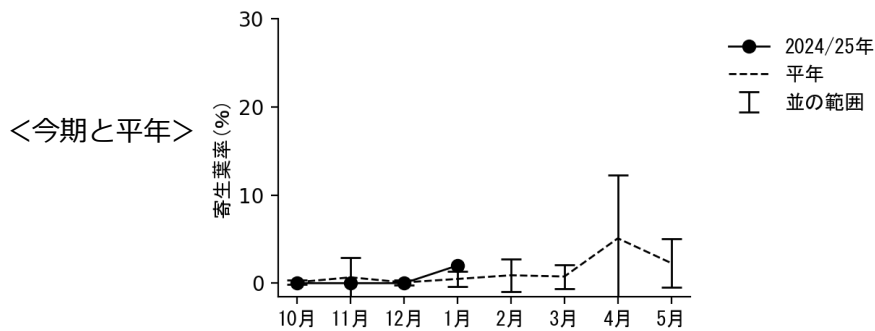


幼虫

作物	トマト(施設)	地域	沖縄群島
病害虫名	③ ハモグリバエ類		
調査結果	1 月の発生量 (平年比)	やや多	
予報	1 月からの増減傾向	→	
	2 月の発生量 (平年比)	並	
予報の根拠		平年の発生量の推移 (→)	

調査結果

寄生葉率の推移



・発生施設率50.0% (平年 : 13.0%)

防除のポイント

- ・摘葉等による残さは発生源となるので、施設外に持ち出し処分する。
- ・幼虫期間が短いため、葉面に産卵痕や食害痕が見え始めたら防除を開始する。
- ・防除効果は幼虫の体色で判定する。生存時は黄色で死亡すると黒変する。
- ・薬剤抵抗性を発達させやすいので、同系統薬剤の連用を避ける。
- ・在来天敵が存在することから、天敵に影響の少ない選択性殺虫剤を使用する。



幼虫の死骸  
(農薬などで死亡すると黒色に変色)